

# 認知症が手術でなおる?かも...



特発性正常圧水頭症 (iNPH) は「治療により改善する認知症」として知られています。iNPHが疑われる患者さんは現在30万人以上いることがわかっています。これはパーキンソン病の約2倍にあたります。アルツハイマー病からすると少ない割合ですが、決して無視できる患者数ではありません。

ただし残念なことに、iNPHという病気は今まであまり注目されていませんでした。そして、診断・治療されないままになっていることが多いのです。

主な症状は**歩行障害・認知症・尿失禁**で、**三徴候**と呼ばれています。これらの症状の改善が得られて本人の自立が高まれば、介護の負担も軽減され、患者およびご家族のQOL (クオリティー・オブ・ライフ: 生活の質) の向上を可能とします。なかには、劇的に症状が改善するケースもあります。

最近の研究によってiNPH病態の解明がかなり進んできました。日本では2004年5月に「特発性正常圧水頭症診療ガイドライン」が諸外国に先駆けて発行、2011年に改版が発行、さらに安全な診療が追求されています。今日では診断技術や専門医療用具も格段の進歩をとげています。精度の高い診断による外科的治療 (髄液シャント手術) によって、非常に高い割合で症状の改善が得られるようになってきました。今やiNPHの診断と治療は様々な医学的活動を通して、欧米をはじめ日本においても活発になってきています。

## 診断について

### ① 症状診断

主に脳神経外科や神経内科などの外来にて行われます。専門医師によって、患者の歩く様子を注意深く観察したり、同伴のご家族からお話をうかがったりしてiNPHの**三徴候**、**歩行障害・認知症・尿失禁**をとらえます。そして歩行障害の程度を測定したり、認知症の有無・程度を調べる検査を行い、尿失禁については本人あるいは同伴者に問診で確認します。

### ② 画像診断

施設により頭部CTもしくはMRI検査を施行します。一般的には脳室 (脳の中の脳脊髄液がたまっている場所) が大きく見えるものを水頭症と呼びますが、脳の萎縮によってそのように見えたり、逆に大きくなさそうに見えても脳室、くも膜下腔の大きさの不均衡により水頭症の病態となっている場合があるので、専門的な診断が必要とされます。

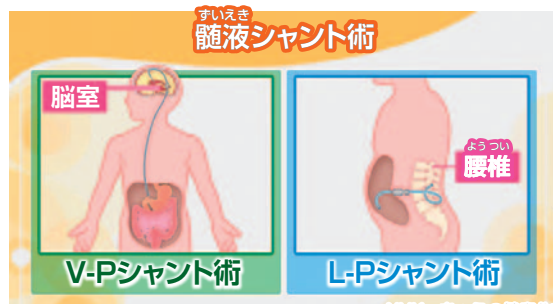
### ③ 脳脊髄液検査

症状や画像診断によりiNPHの可能性が高いと思われる場合、画像検査ではあまりはっきりしないが、病歴や症状からiNPHが疑われた場合などに脳脊髄液を排泄する検査 (TAPテスト) を行うことがあります。検査後に症状が一時的に改善する場合があります。今後の治療方針をたてることができます。また脳脊髄液に病原になるものが見つかる場合もあります。

施設により外来で行ったり、入院検査で詳しく調べることもあります。済衆館病院はその診断に力を入れており、**TAPテストは入院検査**で行うこととしております。

## 治療について

特発性正常圧水頭症 (以下、iNPH) は、髄液の流れを良くする治療によって、症状が改善します。この手術を髄液シャント術といい、脳神経外科で施されます。髄液シャント術には主に以下の方法があり、iNPHの髄液シャント術においては、2つの方法のうちどれでも目的を果たすことができます。



NHK きょうの健康公式サイトより

これら髄液シャント術は過剰に溜まった脳脊髄液を他の体腔へ流すことにより、障害されていた脳の機能を戻すことができます。このときに、歩行障害や認知症、尿失禁といったiNPHの症状が改善されるのです。中には、劇的に改善する患者さんもいらっしゃいます。

最近のiNPH治療では、腰椎-腹腔シャント (L-Pシャント) が主流になりつつあり、幾多の研究によってL-Pシャントの有効性と安全性が検証されています。一番のメリットは、頭部を処置する必要がないということです。手技による頭蓋内出血のリスクがなく、頭部の剃毛の必要もありません。しかしながら腰椎の変形などが強い場合にはL-Pシャントを実施できないこともあります。L-Pシャントの手術手技も工夫を重ねられ、より患者様に負担の少ない手技が開発されています。術後の24時間は患者さんを十分な観察下におきます。頭部と腹部にガーゼを当て、縫合部位を覆い、感染から患者さんを護ります。術後に脳室、くも膜下腔の大きさの変化を診るために、CTスキャンあるいはMRIを行います。一般に患者さんは10日前後の入院を必要とします。退院後にも術後の状態と症状の改善をチェックするために医師が指示するように定期的に健診することが必要です。運動技能の回復を図るためにリハビリなどの補助療法を勧められることもあります。(iNPH.jpから改変)

済衆館病院では認知症と特発性正常圧水頭症 (iNPH) の鑑別に力を入れております。ご心配であれば脳神経外科の専門外来 (完全予約) を受診してください。もともと認知症と診断され治療していても鑑別は可能です。かかりつけ医を受診されている場合は紹介状をご持参ください。

脳神経外科部長 飯塚 宏



私自身が30代となり、地元の友人と会うたびに「おやじ体形になったね…」という話をすることが多くなった気がします。父がぼっちゃり体形だったこともあり、自分はどうなっているかという思いで10代から筋トレを始め、20歳ごろからマラソンをトレーニングとしてやってきました。そんな程度にやっていたマラソンはいつの間にか趣味となり、10月には「いびがわマラソン」、11月には「鈴鹿かもしかマラソン」、2月には「犬山ハーフマラソン」などの

大会に毎年参加するようになりました。(残念ながら今年の「いびがわマラソン」は人気のため、エントリー開始後20分ほどで定員となり、参加することはできませんでしたが…)

マラソン仲間には60代でも年間10本くらいハーフ・フルマラソンに出ている方もいます。何歳になっても自己研鑽を続ける尊敬できる方たちで、私もそんな60代になりたいと思います。まずは近い目標として40代でも走り続け、現在の体形をキープ!!です。

このように、体形維持で始めたマラソンが「トレーニング」から「趣味」へ変わったことで、無理なく20代ごろの体形をキープできるような好循環となりました。40代、6つに割れた腹筋をどう思いますか?私には最高に格好良く思えます。

栄養科 佐藤 康行

## 8月号の花木 ひまわり



キク科の一年草。大きな1つの花のように見えますが、実際はたくさんの花が集まって1つの花の形ができています。外側の黄色い花びらは実を結ばず、内側の花びらのない花が実を結びます。花言葉は「私はあなただけを見つめる」「あこがれ」「情熱」。

## 8月1日～31日 食品衛生月間

- 国民に食品衛生に関する意識を高めてもらうため、食中毒の予防などを全国的に呼びかける
- 8月11日 山の日 山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する
- 8月15日 終戦記念日 戦没者を悼じ平和を祈念する日

## 四字熟語

### 天空海闊 (てんくうかいかつ)

大空と海が広々としていること。転じて、度量が大きく、こだわりのないこと。

※1月号より、四字熟語と一コマメモを交互に掲載しています。

## 募集

### 看護師 ◆常勤 ◆パート

お問い合わせは TEL 0568-21-1615 総務課へ

### 同時募集

言語聴覚士 調理師 調理スタッフ  
ケアマネ 薬剤助手  
総務事務 施設管理

◆読者投稿◆ ご意見・投稿の希望の方は、ハガキ又は封書にて当院広報委員会宛までお願いします。

■ 第125号 2017.8月  
■ 発行/済衆館病院広報委員会

医療法人 済衆館 済衆館病院  
TEL.0568-21-0811 (代表)

〒481-0004 北名古屋西村前111番地  
e-mail: saishukan@rio.odn.ne.jp http://www.saishukan.com  
FAX.0568-22-7494

当院は個人情報保護に積極的に取り組んでいます。